



2020
Let's Search U!
～摂大で始める自分探し～

新入生歓迎プロジェクト

Let's Search U/
scene No.2020

▶▶▶詳しくはP2・3へ

あ
や
け
き

2020 SEP
No. 13

摂南大学広報誌

特集

- ようこそ摂南大学へ!
在学生が歓迎の思いを込めてつくる
新入生歓迎プロジェクト …………… P.02
- コロナ禍における摂南大学の対応 …… P.05

ようこそ摂南大学へ! 在学生在歓迎の思いを込めてつくる 新入生歓迎プロジェクト

Let's Search U!

～摂大で始める自分探し～

「U」は「YOU」を示し、メッセージの中に強調した「S」「U」は、
「Setsunan University」の頭文字「S」「U」を表現しています。

パンフレットと
オリジナルバッグを制作し
新入生全員に配布しました



新入生を歓迎・応援したい 今だからこそその熱い思いが詰まった歓迎企画に

例年大阪城ホールを会場に入学宣誓式を行っている本学では、それに加えて2017年から在学有志が集まり、新入生への祝福と歓迎の思いを込めたステージパフォーマンスや多彩な企画を実施しています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響でこれまでと違う対応が求められました。そこで「会えない状況だからこそ、ぜひ歓迎の気持ちを伝えたい」と動画制作を企画、5月から順次配信しました。

在学生のパワーを集結! 有意義な成長の機会

本プロジェクトは昨年7月から活動をスタートし、10ヵ月かけ約400人の在学学生、教職員を巻き込む本学一大イベントの一つでもあります。その過程で、学生たちは企画立案、プレゼンテーション、そして計画を立てチームワークを発揮して実行していく力を身に付けるなど、大きなやりがいと成長も手にしています。



メンバーが語るプロ



総合司会
入学宣誓式で抱いた
憧れの司会に挑戦

経済学部 経済学科 2年
高橋 大悟さん

昨年、新入生として入学宣誓式に出席した私は、知っている人もなく不安でいっぱいでした。でも、司会者の先輩が「こんにちは!!」と登場した瞬間、不安が一気に期待に変わりました。その感動がきっかけで今回総合司会に挑戦したいと、このプロジェクトに参加しました。大阪城ホールをイメージし準備を重ねていたので中止を聞いた時は言葉も出ないくらいショックでしたが、動画は対面でない分、メンバーや家族に見てもらおうなど試行錯誤しながら制作でき、より見る人の気持ちに寄り添った伝え方ができたと感じています。新入生の皆さんもできることを見つけて全力で頑張ってください。



ダンスサークル
「PEP JOY CREW」部長
一致団結で得た
最高の感動

経営学部 経営学科 3年
松井 優奈さん

「新入生の皆さんを心から歓迎したい」「摂南大の魅力をもっと伝えたい」との思いから参加しました。まずは自分自身が楽しんで取り組むことが、限られた練習時間でパフォーマンスの完成度を高める近道になると考え、常にポジティブな発言を心掛けました。みんなの声を聞き、思いを共有して一致団結できたことは私にとって大きな成長にもつながりました。無事完成し最高の笑顔で「お疲れさまー!」と全員で声を掛け合った時の感動は今でも忘れられません。今は早く新入生の皆さんに会いたいです。コロナ禍と向き合って乗り越え、ぜひ一緒に素敵なキャンパスライフを送りましょう。

新入生歓迎の思いを動画で配信！

5月 歓迎メッセージ動画

新入生歓迎プロジェクトのスタッフが荻田学長にインタビュー。
新入生に向けた歓迎のお言葉をいただきました。

歓迎メッセージ動画はこちら ▶ https://youtu.be/pHh61LxXc_c



6月 予告編動画

新入生歓迎行事動画の完成までに撮影した内容と昨年の新入生
歓迎行事の一部を盛り込み予告編として配信。

▼予告編動画はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=fPaalq3fsYs&feature=youtu.be>



学長・各学部長からの 歓迎と応援のメッセージ

このコロナ禍をどう捉え、未来に向けてどう過ごすのか？
前向きな力が湧いてくる各学部長からのメッセージです。

▼学長・学部長からの歓迎メッセージはこちら

<https://www.setsunan.ac.jp/post-3.html#gakucho>



8月 新入生歓迎動画

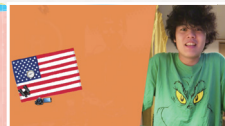
新生活のスタートにあたって、期待と意欲を高めてもらえる
内容を目指し、制作しました。

新入生歓迎動画はこちら ▶ https://youtu.be/-ZPJ_w49ECI



新入生歓迎動画のプログラム

- ①司会の在学生の歓迎メッセージ
- ②年代振り返りダンス
- ③ラグビー部 ハカ
- ④先輩からのメッセージ
- ⑤タスキリレー
- ⑥フィナーレダンス



プロジェクトへの思い



「先輩からのメッセージ」

コーナー担当

苦手を乗り越えて
手にした成長

理工学部 機械工学科 4年
下平 后成子さん

「新入生の皆さんの推進力となるようなメッセージを届けたい」と考えて取り組みました。もともと気持ちを素直に表すのが苦手で公に発信した経験がない私は、自分と向き合い一つひとつの言葉や表現を考えるのに苦労しました。その分、完成した時には自信を持って伝えられるようになったことが実感でき、とても嬉しかったです。一緒にプロジェクトを進めてきた職員の方々と伝えたいことを分かち合えたからこそだと感謝しています。新入生の皆さん、やりたいことがあれば、まずはその一歩を踏み出してみてください。一旦行動に移せば大学生活を充実させるチャンスが次々とやってきますよ。



文化会 吹奏楽部 部長

当たり前の日常の
ありがたさを再認識

法学部 法律学科 3年
梶原 悠希さん

吹奏楽部として毎年参加しています。今年は大阪城ホールで演奏することができず、その上練習も制限がある中で落胆や不安もありました。でも「何かできることはないか」と模索しながら準備を重ね、部員みんなでモチベーションを保つ努力をして、映像で演奏を届けることができました。コロナ禍によりこれまでとは異なる日常を過ごす中で、練習や演奏会ができるありがたさを再認識できたことは、自分にとって大きな意味があったと感じています。新入生の皆さんも不安に感じていることも多いと思いますが、ぜひ熱中できることを見つけて大学生活を過ごしてほしいです。応援しています。

「With/After コロナ時代」の教育改革 ～新しい日常を活かした主体的な学びの実現に向けて～



学長
荻田 喜代一
Ogita Kiyokazu

コロナ禍の厳しい状況の中、皆さまには感染防止と大学運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後はウイルスとの共存が前提となる「新しい日常」での「With/After コロナ時代」が始まります。『変わることは新たな価値を生み出すこと』の思いで、この変化を教育改革の転機と捉えて前へ進んでまいります。

中央教育審議会の「21世紀答申^{*1}」以来、高等教育の教育方法について、アクティブ・ラーニングやICTの教育への活用などが叫ばれ続けています。また最近、初中等教育でも個人端末（ノートパソコンやタブレットなど）を保有する「GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想」が推進されています。しかしながら、昨年まで本学におけるICTの活用は限定的であり、十分に有効活用されているとは言えない状況でした。現下のコロナ禍の大変革の中で、実験・実習・ゼミ科目などの対面授業とともにリモートでのオンライン授業を実施することで、ICTの教育への活用の有効性が見えてきました。特に、ICTを有効活用した授業を運営する中で、「教室での知識伝達型授業（教員主導教育、インプット中心型）」から「オンライン授業による自ら学び、課題に自ら取り組む授業（学生の主体的学修、アウトプット重視型）」への転換の重要性が実感できました。

また、ICTツール活用の日常化が大きな学びとなることも重要です。一方、オンライン授業での教育効果の限界も見えてきました。それら

を踏まえ、「With/After コロナ時代」の教育改革として、以下の内容を推し進めてまいります。

■感染防止対策下での対面授業を原則として、

- ①対面とオンラインとを併用した「ハイブリッド型授業」の実施
- ②オンライン学修が効果的な分野・科目を厳選して、主体的にどこでも学べる多様な学修としての「オンライン学修デー」の設定
- ③情報・ICTリテラシースキルの修得のために、オンライン学修による科目の卒業要件への設定 など

その上で、学修成果を明確に可視化することで、本学が目指す教育『学生が何を学び、何ができるようになったか』を実現できると確信しています。

卒業生で構成している摂南大学校友会^{*2}には、本学支援のためのクラウドファンディングの立ち上げをはじめ、「学生の経済支援のためのコロナ募金」へのご寄付、感染防止のための衛生用品の支給などのご協力をいただきました。また、後援会の皆さまには平素よりさまざまなご支援を賜っています。併せて、コロナ募金へは多くの卒業生、教職員そして本学園に関係する多くの皆さま方からの浄財も寄せられています。こうした多くの方々のご理解と真心のご支援に対しまして心から感謝の意を表します。

今後も継続した感染拡大防止対策下での教育・研究活動を推進してまいります。何卒、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

*1 21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（平成9年6月中央教育審議会第二次答申）

*2 P5に記事掲載

index

特集

ようこそ摂南大学へ！
在学生が歓迎の思いを込めてつくる
新入生歓迎プロジェクト 02

学長挨拶 04

特集

コロナ禍における摂南大学の対応 05

学部TOPICS

法学部・外国語学部	06
経済学部・経営学部	07
理工学部	08
薬学部・看護学部	09
農学部	10
教育力向上の取り組み	10
情報教育支援	11

摂南大学の特色ある取り組み①

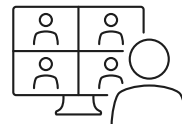
交流事業	11
就活・進路内定状況	12
入試インフォメーション	13
後援会	14

摂南大学の特色ある取り組み②

環境保全	15
------	----

国内外で感染の広がりをみせている新型コロナウイルスを原因とする感染症への対応について、本学では、全学生・教職員への感染リスクを最小限にするべく、最新情報の入手と注意喚起に努めてまいります。今後予定している各行事などにつきましては、状況を注視しつつ、その動向・変化に応じて変更となる可能性があります。新しい情報は本学ホームページにて随時お知らせします。

コロナ禍における摂南大学の対応



本学では、現下のコロナ禍の状況を踏まえ、学生および教職員の安全と健康を第一に、感染拡大防止を前提とした学生への学業・学生生活の支援をはじめ、教育研究活動を行っています。

遠隔授業

遠隔授業を通じ展開する深い学びの実践

前期授業は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、対面が不可欠な実験・実習、演習、ゼミなど以外は遠隔授業としました。後期授業も同様に遠隔授業を中心に実施の予定です。授業形態は、リアルタイムでのオンライン型授業、動画などを視聴し学ぶ教材「課題提供型授業」などから、科目により適切な方法を選択しています。ここで前期授業のオンライン型授業の一例を紹介します。

■事例：1年次対象「大学教養入門」

本科目は、大学生としての教養を培うスタートラインに立つための、主体的な知識の獲得、対話を通じた深い理解、表現技術の修得などを目的としています。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、グループごとに教科書の担当部分を読んで要約し、グループ間の発表と対話によって全体の理解を深めていきます。

オンライン型授業の本格導入・実施は、本学では初めての試みでもあり授業の特性上難易度も高く、多人数の履修学生（1時限約150人、3時限開講で総計約450人）に対応する必要もありました。そこで、遠隔授業用ICTツール「Microsoft Teams」で、複数のグループが自主的にグループワークを行い、グループ間でも意見交換できる仕組みを構築。担当教員は各グループのファシリテーターに徹しました。開始時にはまず教員が全員に注意事項の説明や学習効果を評価するクイズでアイスブレイクを行い、その後学生は自グループに移動して教科書を読み込み、グループでミニポスターへの要約、発表の練習を行います。発表は

ミニポスターを表示しながら全員に顔が見える形で行いました。また、学生の希望を確認し並行して対面授業も数回実施しました。その結果、次の点が明らかになりました。

- ①対話が予想以上に活発に行われ、学生からも対面と同様に対話できた旨の感想があった。
- ②1年次履修の多人数授業のため、ICTツールの基本機能の使用に絞り込んだことで操作方法の理解も進んだ。
- ③読書法の修得、読書を通じた教養への興味を引き出すことができた。
- ④各種ICTツールは常時にも強力に教育を支援でき、アフターコロナの教育環境改善にも大きな可能性を有していることが確信できた。
- ⑤一方で、対面授業での直接対話の有用性も再認識できた。
- ⑥初回と最終回のアンケートで、学修能力の獲得・向上に関して多くの項目で対面授業と同様の成果が見られた。

結論として、オンライン型授業は対面授業と比較して学修効果の面で必ずしも劣っておらず、良い面を組み合わせることでより高い効果が期待できると考えています。

以上を踏まえ、今後も学修意欲を高める多様な方法に取り組んでまいります。

今般の遠隔授業の実施に伴い、本学では受講環境が整わない学生へのノートパソコンの貸し出し、インターネット回線の増強やサーバの性能拡張などの受講環境の整備も行っています。



緊急学修支援金

遠隔授業受講費用として一律5万円を支給

本学で学ぶ全学生（学部生、大学院生）に対して、「緊急学修支援金」として一律5万円を支給しています。

これは、教育の質を維持するための適切で効果的な学びの環境を整えることで、それぞれの学びの到達目標を達成できるよう、遠隔授業受講に必要なパソコン・周辺機器の充実や通信費などの一部として充当することを目的とするものです。



Webオープンキャンパス

摂南大の学びに触れる多彩なメニュー

受験生が自宅にしながらパソコンやスマートフォンから体験できるよう、動画を中心に学生生活や授業体験、入試情報や学生の声などの充実したコンテンツを展開しています。



<https://www.setsunan.ac.jp/nyushika/event/webopencampus/>

コンテンツ内容

- 大学紹介 & キャンパス紹介
- 2021年度 入試説明
- 学部紹介
- 模擬講義
- アクティブ・ラーニング
- 農学の新スタイル
- SETSUNAN STUDENT VOICE
- オンライン個別相談 など



就活支援 Web、電話やメールでもサポート

個別相談、履歴書・エントリーシートの添削、面接練習、求人紹介などの就職活動支援を、対面だけでなくWeb、電話やメールなども活用し、教職員・スタッフ一丸となって行っています。



クラブ・サークルの情報発信

学生部がTwitterで活動紹介や部員募集を発信

各クラブ・サークルがSNSを活用して独自に情報発信をするほか、学生部からも新入生に向けて活動内容の紹介や部員募集の情報を発信しています。

https://twitter.com/su_gakusei



校友会からも 寄付と応援メッセージを いただきました



摂南大学校友会からコロナ対策学生支援募金への寄付を受け、8月1日、寝屋川キャンパスのスカイラウンジで贈呈式を行いました。式当日には、フェースシールド、アルコールハンドジェルなど衛生物品も寄贈いただきました。

山口昌男会長からのメッセージ

「校友会は日頃から応援文化の構築を行っています。コロナ禍の中、母校のために何ができるかを考え、今回の寄付となりました。母校の発展が卒業生の力にもなります。コロナに負けず頑張ってください」

■校友会では、クラウドファンディング（新型コロナウイルス対策支援）を行っています。
詳しくは校友会ホームページへ <http://www.setsunan.com/>



Faculty of Law

法学部

新入生を対象に学生生活の トラブルから法律を考える オンライン授業を実施

普段の学生生活では「法律にまつわるトラブルなんて無縁だ」と考える人が多いでしょう。ところが、トラブルは日常の思わぬ場面に潜んでいることも多く、加害者にも被害者にもなり得ることがあります。そんな時、法律に関する知識があれば回避できることが少なくありません。今回、

法学部の新入生を対象に身近な事例で法律を考える授業を、オンライン配信を通じて実施。

「法を守る学生生活」「学生生活の消費者トラブル」をテーマに7月9日から16日にかけて行いました。

Lecture1

法を守る学生生活

講演の趣旨

大学生による刑法犯が全国的に発生しています。「大したことではないと思った」「バレないと思った」「冗談のつもりだった」このような甘くぬるい認識が取り返しのつかない事態を引き起こすことがあります。悲劇が起こる前に立ち止まるためには、正しい知識を持ち、許されない行為とそれに伴う罰則を理解しなければなりません。法学部の学生は高度な道義的観念を備えているものと社会から期待されていることを認識するために、事例を参考に成立し得る刑法犯を考え法を守る意識を高めました。

講演で扱った事例

- ◎定期券の偽造
- ◎ストーカー行為
- ◎後輩を誘っての自宅での過度の飲酒
- ◎SNS上での誹謗中傷やいたずら行為

学生生活の消費者トラブル ～もうけ話にご用心!!～

Lecture2

講演の趣旨

もうけ話によるトラブルが若者の間で増えています。特に成人年齢を迎える大学生に忍び寄るもうけ話は、未成年者に比べて多くなります。近年は金融商品やマルチ商法による消費者被害が20代の若者の間で急増しています。そのため、もうけ話のウラに潜む被害の実態を示して、「学生生活で消費者被害に遭わないようにすること」「万が一被害に遭った場合にも助けを求めることができるようにすること」を学びました。

講演の骨子

- ◎若者を中心に広がるもうけ話のトラブル
- ◎マルチ商法被害の実態(1)(2)(3)
- ◎学生マルチの実態
- ◎マルチ商法の何がいけないのか?

Faculty of Foreign Studies

外国語学部

帰国後も留学先大学の オンライン授業を受講

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、今年度前期・後期出発の海外留学および夏期休暇中の海外プログラムは中止としました。また、昨年から今年9月まで留学予定だった学生も健康と安全を守ることを最優先に考えて、3月末までに全員が帰国しました。一部の学生は留学先の大学が実施するオンライン授業を受講し、引き続き現地のクラスメートや先生とディスカッション、課題提出なども行いました。



現地留学先でクラスメートと

パレンシア大学の 国際カレッジプログラムに参加

本学部の岸良早恵さん(当時2年)が、2月から始まるアメリカ・パレンシア大学のパレンシア国際カレッジプログラム(ディズニープログラム)に、16期生として参加しました。本来であれば5か月間のプログラムとして実施される内容を、コロナ禍の影響によるプログラムの中止を受け、3月までに短縮した1か月間の留学となりました。

このプログラムは、留学だけでなくインターシップを同時に体験できるもので、ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートのスタッフとしてテーマパークの運営に携わります。週の5日間をインターシップ、残り2日間はパレンシア大学とディズニーのスタッフが講師となり、ビジネスマネジメントやホスピタリティなどの授業を履修できる充実した内容です。世界中から集まる学生と、ルームシェアによる共同生活や文化交流を通して、海外で暮らし、学び、働くなどを体験する中で、グローバル人材に必要な国際感覚を養うとともに知識やスキルなどについても習得します。

本プログラムは現在、中止されていますが、

募集が再開次第、本学ホームページで案内します。



プログラム参加の学生とインターシップ先で

遠隔授業の工夫・改善を巡る 学生参加型オンライン会議を開催

コロナ禍が続く中、前期授業の全ての科目が遠隔授業となりました。これまでと違った授業を行う中、受講した学生のリアルな声を聞き、今後の授業の工夫・改善に活かそうと、本学FD委員会は、9月1日にオンライン会議を開催しました。各学年からさまざまな専攻言語の学生が参加し、授業の方法や学生間のコミュニケーション活性化などについて、率直で具体的な意見が活発に交わされました。学生の意見を踏まえ、後期授業からの遠隔授業の質をさらに高めるよう取り組みます。

経済学部

経済学部では、コロナ禍により、授業をオンラインなどを活用し行う中、学外からの多彩なゲストの招へいをはじめ、バーチャル・フィールドワークを取り入れた学修など多様な遠隔授業を展開しています。

「摂南経済ゲストレクチャー」を開講 ～テレビプロデューサーや 企業トップなどがオンライン授業～



クラブツーリズム(株) 宮本氏



千島土地(株) 芝川氏

経済を取り巻く社会の現状を、第一線で活躍するゲストから学ぶ授業「摂南経済ゲストレクチャー」。後藤和子教授のガイドのもと、5月から7月にかけて開講しました。緊急事態宣言により、キャンパスでの対面講義ができない中で、6人のゲストがそれぞれに工夫を凝らしたオンライン授業を提供しました。講義内容は、

「グローバル化した世界で働くには何が必要なのか?」をテーマに、国際経済、地域経済、観光経済などのトピックに関するものでした。受講した学生はこれらのトピックについて調べ、自分の意見を含むレポート作成に取り組みました。

ゲスト講師

- クラブツーリズム(株)
国内旅行部 京の旅デザインセンター顧問 宮本茂樹氏
- 日本テレビ放送網(株)
制作情報局プロデューサー 似島利行氏
- (株)木の家専門店 谷口工務店 代表取締役 谷口弘和氏
- 千島土地(株) 代表取締役社長 芝川能一氏
- (一社)ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表 大和田順子氏
- インディペンデント・キュレーター
国立国際美術館客員研究員 林寿美氏

「経済学入門」で、 読売新聞の戸田氏がオンライン授業

1年次対象の「経済学入門」では、読売新聞大阪本社広報宣伝部長の戸田博子氏(現在は「新聞のちから」委員会事務局長)が「経済記事を読もう」と題してオンラインによる授業を行いました。



新聞を手に解説する戸田氏

ビデオを交えながらの解説は、入学間もない学生にも分かりやすい内容でした。

オンラインで バーチャル・フィールドワークを実施

後藤和子教授のゼミでは、デジタル化された文化資源(国会図書館のジャパンサーチやオンライン・ミュージアムなど)を活用し、学生がオンラインでガイドするバーチャル・フィールドワークを行っています。後期からは、オンライン



により本学協定校のIULM大学(イタリア・ミラノ市)に1日留学し、ミラノ市内の文化産業を見学するバーチャル・ツアーの実施を計画中です。



2月に実施したIULM大学(イタリア)での海外研修

経営学部

「大学SDGs ACTION! AWARDS 2020」で ファイナリスト賞を受賞 経営学科

朝日新聞社主催の「大学SDGs ACTION! AWARDS 2020」において、経営学科の関勇輝さん(当時1年)と吉村怜さん(同)のアイデアが最終選考に残り、2月15日に東京・渋谷キューズで開催されたプレゼンテーション大会(全国大会)で「ファイナリスト賞」を受賞しました。



このイベントは、国連サミットで採択された持続可能な開発目標「SDGs」の実現に向けて、大学生の活動や研究に基づいた独創的な企画・

アイデアを募集するものです。2人は「高齢者を輝かせるAI活用法」をテーマにアイデアを発表。日本では介護・支援を必要としながらも、働く意欲の旺盛な高齢者・障がい者が少なくない現状から、「高齢者や障がい者がAIに必要な画像・音声データセットを作成する」というビジネスモデルを着想しました。現在、指導教員の塚田義典講師のもと、民間企業との共同研究体制を構築。社会実装に向け研究を進めています。



ワガヤネヤガワ・ベンチャー ビジネスコンテスト2019で グランプリを受賞 経営情報学科

寝屋川市が市内の産業振興を推進する事業として、包括協定を結ぶ学校の生徒や学生から広くビジネスプランを募集する「ワガヤネヤガワ・ベンチャービジネスコンテスト」が開催され、本学科学生の企画が、見事グランプリを受賞しました。受賞したプラン「寝屋川を元気にするネヤガーデン」は、学生の力で寝屋川市の活性化を

目指し、SNSと連動した季節を感じさせるイベントの企画により、若者の参加促進を図ろうというもの。協働部門での部門賞を受賞した後、グランプリを決める発表会に向けて入念に準備を進めてきました。残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響から2月に開催の発表会は中止となりましたが、審査の結果、グランプリを受賞。報告を受けて、代表者の中山隼斗さん(当時3年)は、「一生懸命考えた私たちのプランの全容を皆さまの前でお話できないのが残念ですが、グランプリをいただけて本当に嬉しいです」と喜びを噛みしめていました。



理工学部

新カリキュラムが始まりました

～特色ある3つのコースに～

生命科学科

生命科学科では、4月より2020年度入学生から適用となる新カリキュラムに移行し、従来の「生物系コース」「環境系コース」の2コースから下記の3コースになりました。2年次からは各コースでの学びが始まります。

総合研究コース

生命科学の研究に関する知識と技術を学ぶ。

生命科学のさまざまな分野で活躍できる幅広い知識を身につけることを目指します。

先端研究コース

生命科学分野のさまざまな先端研究に触れる。

理学・工学・医薬・農学の先端研究を学び、未来を担う研究者・開発者・技術者を目指します。

教育スペシャリストコース

サイエンスを次世代へ伝える知識と技術を学ぶ。

生命科学を中心としたサイエンスの楽しさと重要性を次世代へ伝える教員を目指します。

例年、卒業生の2割程度が学内外の大学院へと進学し、未来を担う研究者・開発者・技術者を目指しています。学生の研究・学会活動は活発です。昨年度には、国際学会で6件の発表を行い、学会発表による受賞が1件ありました。「先端研究コース」は、このような進路を後押しします。

コース選択前の1年次の段階から研究室見学を行い、どの方面を目指すのか考えます。早期から目標を明確にすることで、より深い学びへとつながるよう体系的な教育課程を編成しています。

キャンパスから飛び出し

学会発表など学びの専門性を社会へ

住環境デザイン学科

住環境デザイン学科では、自らの成長を確認できる重要な機会として、学会発表や建築コンペ、社会連携などの学外活動参加を推進しています。昨年度の成果を紹介します。

【社会連携】

● 山口浩太郎さん(4年) 他6名(岩田三千子教授ゼミ)

「JA北河内・新二島支店新店舗デザイン提案」として、JA北河内の「花屋の中に金融機能を持つ支店」という全く新しいコンセプトの支店建設プロジェクトに参加。利用者のことを第一に、花屋と金融機関に一体感をもたらすための店舗内外の色彩や色調、照明の数や配置方法、花を魅力的に見せるディスプレイ方法など、光・色彩環境計画研究室の専門性を活かして提案。岩田ゼミからの提案は来年2月に新二島支店(門真市三ツ島)として実現する予定。

【受賞・学術】

● 南田高希さん(大学院2年・竹村明久准教授ゼミ)

「少数臭気評価の偏差に基づく多数評価平均値の推定手法」で2019日本建築学会近畿支部建築環境工学若手研究者研究発表・交流会 優秀発表賞、「香りを用いた仮眠が作業効率に及ぼす影響—脳波指数と作業効率の関係—」で2019室内環境学会学術大会・大会長奨励賞(口頭発表)

● 吉田聡美さん(4年・大橋巧准教授ゼミ)

「全国の大学施設におけるエネルギー消費実態の比較分析」で2019日本建築学会大会(北陸)学術講演会・若手優秀発表賞

● 糸原佳奈さん(大学院1年・岩田三千子教授ゼミ)

「異なる照明環境条件下におけるプロジェクター画像および机上の視対象の視認性評価」で2019年度電気設備学会大会・優秀発表賞

【受賞・デザイン】

● 柚木美沙さん(4年) 他6名(久富敏明教授ゼミ)

「プラスチックバッグの茶室」で日本建築家協会(JIA神奈川)主催2019茶室デザインコンペ 審査員賞

● 西尾梨香さん(4年・稲地秀介准教授ゼミ)

「居場所のできる『むら』」で第51回毎日・DAS学生デザイン賞・大学生の部「金の卵賞」建築部門入選



JA北河内職員の方と
検討(岩田ゼミ)



学科オリジナルサイトはこちら

<https://www.setsunan.ac.jp/~led/>

パブリックな空間を使いこなすための 「小さなもの」を挿入

建築学科

建築学科では、地域の公共空間や空き家など、さまざまな場所に対してプレースメイキングと呼ばれる実践的な活動を展開しています。その成果の一つとして、昨年11月27日、門真市立市民交流館中塚荘(門真市月出町)にベンチ・卓・縦幕・のれんが完成し、宮本一孝門真市長や荻田喜代一学長も参加した披露会が開催されました。摂南大学と包括連携協定を締結している門真市側から公共施設の「魅力向上」が求められたもので、市民が公共施設を気軽に使うきっかけとして、角材ベンチ・版築卓・紺縦幕・麻のれんといった「小さなもの」を挿入しました。現地調査、関係者へのヒアリング、現地実測、提案検討、行政の方々へのプレゼンテーション、試験施工、本施工、手直し、とプロジェクト始動



作成したベンチで。
宮本門真市長
(写真前列左から4人目)、
荻田学長と学生たち



門に取り付けられた
麻のれん

から約1年かけて完成した「小さなもの」。市民の生活にとけ込むことで、公共施設に対する大きな位置づけと変化に繋がることが期待されています。

日本技術者教育認定機構(JABEE)

高評価での継続審査で認定に

機械工学科

本学科の機械工学総合コースは、2013年度から日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けており、2019年度は継続審査の受審がありました。自己点検書による書類審査から始まり、昨年10月には教員・学生の面談に加え、実習で使用するCAD室やテクノセンターの視察を含む実地審査が実施されました。全ての審査において高評価を受けることができ、3月に最長期間である6年間の認定有効期間が付与されました。

JABEEの認定基準は、技術者教育認定の世界的枠組みであるワシントン協定などの考えに準拠しており、機械工学総合コースの卒業生は、国家資格である技術士の一次試験が免除されます。これにより、本学の教育課程の質保証の裏づけとなっています。



継続となった
JABEEからの認定証

電気工学応用ゼミで

最終発表会を実施

～スマホ活用の学生投票による選出で
最優秀発表班を表彰～

電気電子工学科

1月15日、電気工学応用ゼミの最終発表会を実施しました。このゼミでは毎年、原則2人1班になり班ごとにバーサライタ(手で振ると、文字や絵が見える表示装置)の製作に取り組みます。製品を想定して課題を抽出し、課題解決に向けてアイデアを出し合い、試作計画を立て製作を進めていきます。また、他の班とも意見交換しながら作品を仕上げていきます。ゼミの最終日には、班ごとに作品の説明とデモンストレーションを実施します。毎回、個性的な発想に基づく作品が発表され、学生も教員も大いに盛り上がります。

今回、初めてスマートフォンを活用した学生投票により、最優秀発表班を選出しました。会場1では上下(縦)に振る独特の動作をする作品が、会場2ではノートパソコンと無線で接続して好きな文字を表示させる作品が、それぞれ最優秀発表として表彰されました。



作品の説明と
デモンストレーションを
行う発表班

薬学部

キャンパスツアーの ライブ配信を実施

5月27日、6月3日の両日、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、大学生活に不安を抱く新入生のため、キャンパスツアーのライブ配信を実施しました。ツアーでは、学生が利用する実習施設をはじめ、情報処理演習室などを紹介。薬剤師業務を学ぶための現場を再現した調剤実習室や保険薬局実習室では、薬剤師経験のある教員が薬剤師の仕事内容などをレクチャーしました。参加学生からもライブ配信を視聴しながらチャット機能で質問やコメントを送るなど、学生と教員が交流できる機会となりました。



ローカルメディアサイト 「枚方つーしん」に 薬学部臨床研究センターの 記事が掲載

薬学部臨床研究センターは、ローカルメディアサイト「枚方つーしん(通称:ひらつー)」から取材を受け、2月26日に子どもでも飲みやすい薬の研究に関する記事が掲載されました。

取材当日は、山下伸二教授、首藤誠准教授、



1回分量的水薬をつくる



開発した水溶性容器への封入



完成した1回分の水溶剤



“おさなちゃん”へ飲ませる実演

三田村しのぶ助教が、枚方つーしん記者と枚方つーしんの名子役“おさなちゃん”からインタビューを受けました。同センターは、「子どもたちに元気で笑顔でいてほしい」との思いで、子どもが飲みやすい薬の研究に取り組んでいます。今回開発した水溶性容器やゼリー剤を実際に体験した記者からは、「子どもだけでなく高齢者も服薬しやすい」「実用化はいつ頃になるか」などの質問が寄せられました。



「枚方つーしん」掲載記事はこちら

<http://www.hira2.jp/topic/setsunan-20200226>



1回分の粉薬をゼリー状にしたもの。
計量が不要でそのまま服用できて手軽で衛生的



“おさなちゃん”から取材を受ける
山下教授(左)、首藤准教授(中央)、三田村助教

看護学部

新入生交流会を開催

看護学部では、7月4日と11日の両日にわたり「新入生交流会」を開催しました。

コロナ禍により入学宣誓式は中止、授業は遠隔授業が中心となり、新入生は大学入学後も通学が制限される状態が続いていました。そんな中で始まった担任教員とのオンラインによる個別指導では当初、「授業の受講方法」や「学生生活の過ごし方」などの漠然とした不安が寄せられました。授業が進むに従い次第に、「課題が多くて大変」「提出物がきちんと提出されたか心配」など具体的な内容へと変化していきました。この状況を踏まえ、新入生の不安を払拭する機会として、感染症対策を万全に期したうえで今回の実施となりました。

交流会では、鎌田佳奈美学部長からの挨拶、田中結華学科長からの感染症に関する講義に続き、担任教員および各看護学領域ごとの教員紹介がありました。その後、1グループ5人程度に分かれ、上級生を加えてのフリートークや

大学内の施設見学を行いました。

フリートークの間では、新入生同士が初めて交流する機会となりました。また、上級生に授業内容などについての質問を通して、これまで抱えていた不安や悩みを解消することができたようで、大学生活を送るための期待感や安心感につながる交流会となりました。



新入生同士
フリートークでの交流



密にならないように
工夫して席席

5期卒業生 全員が国家試験に合格

今年3月に卒業した看護学部生が2月13日に助産師国家試験、2月16日に看護師国家試験を受験しました。

受験日当日は新型コロナウイルス感染が広がりはじめた頃で、体調管理が懸念されたものの、97人

(助産師国家試験は8人)全員が受験しました。

3月19日には厚生労働省からの結果が発表され、看護師国家試験、助産師国家試験いずれも受験者全員が合格し、合格率100%を達成。いずれも昨年度に続き2年連続100%の合格率となりました。

看護学部では開設以来、5期生までの卒業生全員が看護師、助産師(助産師課程修了者)国家試験に合格したことになります。本学の結果および全国平均は以下のとおり。

◆看護師国家試験

受験者97人 合格者97人 合格率**100%**
全国平均(新卒者)94.7%

◆助産師国家試験

受験者8人 合格者8人 合格率**100%**
全国平均(新卒者)99.5%

■国家試験に合格した卒業生は、医療従事者として4月から就職先に勤務し、新たなフィールドで歩み始めました。新型コロナウイルスが猛威を振り、過酷な状況下でのスタートとなりましたが、私たちの健康と生活を支える存在となる卒業生に温かいエールをお送りください。

農学部

大学の農場でイネ栽培を実施

農学部では6月、全学科の必修科目である「農学基礎演習」を学科別に実施しました。イネ栽培を行うその日、農学部1期生となる1年次生同士が初対面する機会となりました。当初、学外の圃場で実施する予定でしたが、コロナ禍の影響により急遽、今年新設した枚方キャンパス内の農場に変更して実施。大型コンテナを多数用意し、水田環境を再現しました。学生は10人程度のグループに分かれ、異なる2品種のイネを、施肥料を変えて植えました。7月初旬～中旬には生育状況を比較するイネ観察、9月中旬に稲刈を行いました。10月以降には、野菜栽培の実習を行う予定です。



水田環境を再現したコンテナ内でイネ栽培の演習を行う学生

コロナ禍に配慮し、少人数で実施した実験・実習の授業が終了

農業生産学科および応用生物科学科の「化学実験」、食品栄養学科の「調理学実習」「食品学実験」「解剖生理学実習」が終了しました。これらの科目は、コロナ禍での感染防止対策として、グループを複数の実験・実習室に振り分け、通常より少人数で実施しました。複数ある実験・実習室をオンライン接続で同時中継し、3密を避けてコミュニケーションが取れるよう工夫しています。最終回の授業では、それぞれの学生が個別にプレゼンテーションを行うなどしっかりと質疑に答える姿が見られました。



真新しい施設で実験・実習を行う学生

「摂大農学セミナー」をオンライン配信で実施

農学の新しいスタイルを目指し、食と農に関わる一連のプロセスについて最先端の教育・研究をスタートした農学部では、研究成果を広く知ってもらい、産学官の連携を推進するため「摂大農学セミナー」を開催しました。

第1回は、7月27日にオンラインのライブ配信で実施し、食品栄養学科の岸本良美准教授が

「ポリフェノールの健康機能」について、応用生物科学科の豊原治彦教授が「海洋生物研究の面白さとその産業応用」について講演しました。学内の教職員のほか、自治体、一般企業の方や高校生、大学生など、学外から約100人の参加がありました。

第2回は9月7日に実施し、農業生産学科の山川武夫教授が「ダイズの遺伝的特性を利用した生物肥料の開発」について、食農ビジネス学科の田中樹教授が「摂大農『スパイス・プロジェクト』の提案」について講演しました。

今後も定期開催していく予定です。

農学部の特設サイトを開設

新入生に多くの情報を届けるため、4月20日に農学部の特設サイトを開設しました。学部長・各学科長のメッセージをはじめ、今年4月に着任した62人の教員全員の顔写真と研究内容、新入生に向けたメッセージを掲載しています。遠隔授業に関する情報も随時更新しています。今後、さらに掲載項目や情報量を増やし、農学部オリジナルホームページに移行する予定です。

農学部特設サイトはこちら

<https://www.setsunan.ac.jp/~r-inoue/tokusetsu/>



教育力向上の取り組み

授業デザイン研修ワークショップを開催しました

教務部教育イノベーションセンターは、7月からオンラインによるMicrosoft Teamsを活用した授業デザイン研修ワークショップを開催しています。

本ワークショップの開催は、今年度で12年目になります。ファシリテーターなど運営は全て教職員が担い、本学の教育力向上に向けた特長的な取り組みとなっています。

前年度までは、1日で修了するよう多数のテーマをプログラムに組み入れた「詰め込み型」で実施していましたが、今年度から、テーマを分け年間を通じて定期的な研修を設定し、受講者に適した研修プログラムの実施を計画しています。7月3日に、第1回となるオリエンテーションを開催。中嶋義隆教授(理工学部生命科学科)によるレクチャーを通して、「教育は学習者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスである」「学習者が学習の主体者であり、教員や指導者はあくまでその助力者すなわちサポーターに過ぎない」

「教員は何を教えたかではなく、学習者がその結果として何ができるようになったか」「価値ある行動変化が起きたことで何を学修したか」が重要であることを再認識しました。

また、今年度よりメンター制度も試行的に導入。新任教員がスムーズに教育・研究活動に取り組めるように情報提供や相談体制を整えています。こうした取り組みを通して教員間の関係性を

高め、質の高い教育・研究環境を創出できるよう努めてまいります。

研修プログラム(今後の予定)

- ① ラーニング1「学修目標の立て方」
- ② ラーニング2「学修方法(方略)」
- ③ ラーニング3「教育評価」
- ④ ワークショップ「協働でシラバスづくり」





e-learning英語学習システム 「ATR CALL BRIX」をバージョンアップ

「ATR CALL BRIX」は、英語の4技能（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）をバランスよく身につけることができるe-Learningシステムです。主な変更点は以下の2点です。

- 英検対策教材で圧倒的なシェアと信頼度を誇る旺文社のコンテンツを使用
- 英作文対策や発音練習など、ライティング・スピーキングの課題が充実

遠隔授業が続く中、自宅から「ATR CALL BRIX」を活用して英語力を高めていくことができます。パソコン、タブレット、スマートフォンから、本学ホームページ内の情報メディアセンターサイトを通じてご利用ください。

<https://www.setsunan.ac.jp/~center/atrcall/>



Office 365 ProPlus無償インストールについて

本学では、Microsoft社と教育機関向け総合契約を締結しており、本学学生・教員は、Office 365 ProPlus (Microsoft Office製品) を無償で使用することができます。本学ホームページ内の情報メディアセンターサイトに詳しく紹介しています。

<https://www.setsunan.ac.jp/~center/Office365ProPlus/>



FAQ検索システムを開設

大学への問い合わせでよくある事項について、本学ホームページから検索できるFAQ検索システムを、6月から公開しています。コロナ禍における大学窓口の一次対応を本学ホームページのお問い合わせページから利用でき、授業やガイダンス、各種ICTツールに関するFAQが確認できます。

<https://www.setsunan.ac.jp/toiawase/>



摂南大学の特色ある取り組み①



交流事業 Exchange Program

国際交流

新型コロナウイルスに負けず
遠隔で英会話プログラムや
交流会を実施

リモート環境でECWを展開

新型コロナウイルスの感染拡大によりキャンパスでの対面授業が行えない状況でも、国際交流に対する熱意を維持しようと、6月からリモートによるECWを始めました。

ECW (English Communication Workshop) は、英語のみを使用した会話練習の場です。週4回開催し、8月までに全学年を対象に100人以上の学生が参加しました。

参加者は、カナダとアメリカ出身の本学教員が設定したさまざまなテーマに基づき、

毎回会話を楽しみながら学びました。「新型コロナウイルスに関すること」「国際協力に関すること」「社会体制に関すること」などグローバルな話題や、日本の文化、食事に関することなど多彩な会話が盛り上がりました。学生も自宅からリラックスした雰囲気に参加でき、対面で実施するよりも発言しやすかったなどの感想が寄せられました。

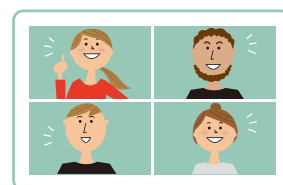
新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、海外への渡航規制が緩和されれば、すぐに

世界に飛び出すことができる語学力とバイタリティーを身に付けることができます。後期もリモートでECWの開催を予定しています。

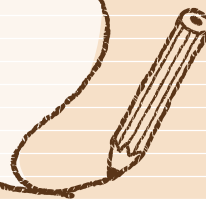


新入生の留学生を対象に オンライン交流会を開催

今年の新入生、とりわけ留学生は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、入学前からさまざまな不安がある中で大学生活がスタートしました。そんな新入留学生の不安を解消しようと、先輩留学生が中心となって、留学生オンライン交流会を5月に2回開催しました。第1回はベトナム・インドネシアの先輩留学生が、第2回はベトナム・中国の先輩留学生がホスト役を務めました。新入留学生からは、授業の選び方、大学での学習方法、日本語学習、アルバイトについてなど、さまざまな相談がありました。参加した新入留学生からは、「授業開始前に不安を解消できて心強かった」との感想がありました。



就活・進路内定状況



“就活”と内定の状況

～二極化と長期化に～

今年度の就職活動、いわゆる「就活」は、2月から本格的に始まりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3月以降、学内外の就活イベントは中止や延期となり、多くの企業で採用活動が中断されました。その後、徐々にWebを利用した説明会やセミナー、選考を再開する企業が増え、府県を跨ぐ社会活動の規制が解除された6月以降は従来の“対面型”の採用活動も開始されたものの、オンライン面接など“非対面型”がニューノーマル（新しい生活様式）となってきました。

これまでの状況を鑑みると、採用活動のWeb化に対応できた企業とできなかった企業、また就活についてもWeb化に対応できた学生とできなかった学生の二極化が顕著です。この結果、9月1日現在、本学の就職内定率も63.2%（文系55.4%、理系74.9%）と前年度から約12.8ポイント減となりました。

さらに、世界的規模で猛威を振るう新型コロナウイルスは、企業の業績や大学新卒採用枠に大きな影響を及ぼしています。2021年3月卒業修了予定者の大卒求人倍率（リクルートワークス研究所調べ）が前年より0.3ポイント低下の1.53倍を維持しているものの、企業の今期の採用活動は長期化すると予測しています。

来年度以降の就活に対して、採用抑制など新型コロナウイルスの影響を受ける不安が先行しがちです。しかしながら、就活の本質は変わりません。在学中にしっかりと将来を考えて、まずは大学での学び、友との関わり、課外活動などを通じて「充実した学生生活」を過ごすことを勧めます。そのことが将来の望ましい進路選択と成長につながっていきます。今後も学生の皆さんの就活をサポートしてまいります。

証明書に関するお知らせ

証明書取得・申請に関する利便性向上を図るため、2020年11月より『証明書コンビニ発行サービス』を導入予定です。これに伴い、就活用をはじめとする各種証明書発行手数料を変更します。詳細は、本学ポータルサイトやホームページでお知らせしますので、日々確認してください。

未内定学生の支援は？

～個別面談でサポート強化～

就職部と枚方事務室就職係では、さまざまな事情から現在も進路未内定になっている学生に対する就活支援も行っています。個別面談を中心にWeb、電話、メールを活用した支援を行っていますので、安心して就活を続けてください。なお、時期的なことを考え、就職を希望する場合は早めの相談が望ましいことから、計画的に準備するよう指導しています。

- 個別説明会／※就職部（寝屋川キャンパス）のみ
企業単独の学内説明会実施中（Webも活用し学生希望に応じて）
※1次選考を兼ねる企業もあります。
- 個別面談／随時実施中
履歴書・エントリーシートの作成、求人企業紹介等、就活支援に関することならどんなことでも相談してください。
- 模擬面接／随時実施中（予約制）

就活の目的は、卒業後に始まる社会人としての「本番」に備えることです。就活を「働き始める準備をする期間」と捉え、「自分がすべきこと」を認識して、卒業研究を中心に学生生活の総仕上げにも全力で取り組んでください。

「就活ルール」撤廃に関して

日本経済団体連合会（経団連）が策定していた「就活ルール」は撤廃されましたが、政府主導の新ルールでは、2022年卒までは現行の就活ルール（3月広報解禁、6月選考開始）を継続することが決定されています。

このルールは、「学生が学修時間等を確保しながら安心して就活に臨める環境保持を」との考えで、新卒一括採用を軸に置きながら、学生の個人情報取り扱いの法令順守、学生の弱みに付け込むようなハラスメントなどの防止徹底、学事日程への十分な配慮をはじめ、日本人海外留学生や外国人留学生などに対しては通年採用のほか多様な採用選考機会を求めるといふものです。

一方で近年は、「インターンシップ」や「1day仕事体験」と就活が繋がっている企業が増えているのも事実です。コロナ禍の影響で就活にもさまざまな変化が起きているため、情報収集など早期からの準備着手も学業と並行して進めていきましょう。



入試インフォメーション

TOPICS 1

入試区分(名称)が変わります

個性を活かせる多彩な入試を実施します。自分の強みを発揮できる多彩な入試を準備しています。

一般選抜

- ①一般選抜 前期日程(2科目型)
- ②一般選抜 前期日程(3科目型)
- ③一般選抜 後期日程

大学入学共通テスト併用・利用入試

- ①一般選抜 前期日程(2科目型)+共通テスト方式《2プラスC》
- ②一般選抜 前期日程(3科目型)+共通テスト方式《3プラスC》
- ③大学入学共通テスト利用入試 前期・中期・後期

学校推薦型選抜

- ①公募制推薦入試A日程
- ②公募制推薦入試B日程
- ③専門学科・総合学科推薦入試
- ④課外活動優秀者推薦入試

総合型選抜

- ①総合型選抜AO入試

TOPICS 2

入学定員を増員します

法学部 250人→**280人** 経済学部 250人→**280人** 理工学部 500人→**585人**

TOPICS 3

第二志望制度適用があります

経済学部、経営学部と理工学部(生命科学科を除く)、農学部(農学部)に学科の「第二志望制度」を設けています。

NEW

経済学部 農学部食農ビジネス学科との学部(学科)間で第二志望学部(学科)を選択できます。食農ビジネス学科の**理系科目型**は対象外。

経営学部 2学科間で第二志望学科を選択できます。

理工学部 「住環境デザイン学科・建築学科・都市環境工学科」の3学科間、「機械工学科・電気電子工学科」の2学科間で第二志望学科を選択できます。住環境デザイン学科の**文系科目型**は対象外。(生命科学科を除く)

農学部 【公募A】**理系科目型** 4学科間で第二志望学科を選択できます。

文系科目型 農業生産学科・応用生物科学科・食品栄養学科は3学科間で第二志望学科を選択できます。食農ビジネス学科は経済学部との学部(学科)間で第二志望(学部)学科を選択できます。

【公募B・一般前期(2科目型)・一般後期】 農業生産学科・応用生物科学科・食品栄養学科は3学科間で第二志望学科を選択できます。食農ビジネス学科は経済学部との学部(学科)間で第二志望(学部)学科を選択できます。

【一般前期(3科目型)】 **理系科目型** 4学科間で第二志望学科を選択できます。

文系科目型 食農ビジネス学科は経済学部との学部(学科)間で第二志望(学部)学科を選択できます。

NEW

TOPICS 4

みなし得点制度を全学部(学科)に適用します

公募制推薦入試A・B日程において全学部(学科)に本制度を導入します。

- ①全学部対象
- ②基礎評価方式のみ
- ③右表に示すいずれかの条件を満たし、当該制度の適用を希望する場合、英語適性検査の得点にみなして換算します。なお、可否判定には、本制度により換算した「みなし得点」と実際に受験して得た英語適性検査の得点のうち、高得点のほうを利用します。

(注意) 1. 満点の100%に該当する場合は、英語適性検査の受験を免除します。ただし、「総合評価方式」を併願する場合は、英語適性検査の受験が必要です。

2. 満点の90%、満点の80%に該当する場合は、英語適性検査の受験が必要で、欠席した場合は不合格となります。

3. 対象入試の出願開始日から2年度以内に合格または取得したスコアを対象とします。

英語試験名	英語適性検査		
	満点の100%	満点の90%	満点の80%
実用英語技能検定	1級	準1級	2級
GTEC(4技能版) [オフィシャルスコアに限る]	1350	1190	960
TOEIC® L&R / TOEIC® S&W [IP不可]	1845	1560	1150
TOEFL iBT® [ITP不可]	95	72	42
IELTS	7.0	5.5	4.0
TEAP(4技能)	375	309	225
TEAP CBT	800	600	420
ケンブリッジ英語検定	C2 Proficiency C1 Advanced	B2 First	B1 Preliminary
(参考) CEFR対象	C1 (上級)	B2 (中級の上)	B1 (中級)

TOPICS 5

農学部の入試がさらに増えます

2020年4月に開設した農学部では、以下の入試を新たに実施します。

- ①総合型選抜AO入試
- ②帰国生徒入試
- ③外国人留学生入試
- ④社会人入試

2021年度入試日程表

入試区分	募集学部	試験日	出願期間	可否発表日
公募制推薦入試	全学部(農学部「理系科目型」「文系科目型」)	11/18(水)	11/1(日)~11/8(日)	12/2(水)
	法学部・外国語学部・経済学部・経営学部・理工学部(住環境デザイン学科のみ「文系科目型」)・薬学部・看護学部・農学部(「文系科目型」全学科)	11/19(木)		
	全学部	12/13(日)	11/1(日)~12/2(水)	12/24(木)
一般選抜	法学部・外国語学部・経済学部・経営学部・理工学部(住環境デザイン学科のみ「文系科目型」)・農学部(食農ビジネス学科のみ)	1/23(土)	12/25(金)~1/12(火)	2/6(土)
	全学部	1/24(日)		
	前期(2科目型)+共通テスト前期	1/23(土)・24(日)	12/25(金)~1/24(日)	2/24(水)
	前期(3科目型)	2/9(火)・10(水)		
	前期(3科目型)+共通テスト中期	全学部	2/8(月)~2/26(金)	3/16(火)
	後期	全学部		
大学入学共通テスト利用入試	前期	本学個別学力試験は課しません	12/25(金)~1/12(火)	2/24(水)
	中期		12/25(金)~1/24(日)	
	後期		2/8(月)~2/26(金)	3/16(火)

※掲載内容は変更する場合があります。出願にあたっては、必ず「入学試験要項」および「本学入試情報サイト」で内容をご確認ください。

新型コロナウイルス感染症に関する入学試験関連の情報は右記サイトに集約しておりますので最新の情報をご確認ください。▶▶▶

<https://www.setsunan.ac.jp/nyushika/news/COVID-19.html>



【お問い合わせ先】 入試部(寝屋川キャンパス) TEL:072-839-9104 <https://www.setsunan.ac.jp/nyushika/>

後援会 会長 挨拶



会長 仲田 久美子

後援会会員および関係者の皆さまには、日頃から摂南大学後援会の活動にご理解、ご協力を賜わり、誠にありがとうございます。このたび2020年度の後援会会長を務めることとなりました。本会活動の目的である「大学と家庭との連携を密にし、より良い教育環境の構築」を目指して尽力してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

後援会では2020年度、「大学と家庭との連携強化」「教育懇談会の実施」「教育に対する援助」「学生の課外活動に対する援助」「就職活動に対する援助」の5つの主たる事業はもとより、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の防止策として「リスクマネジメントに係る援助」を新たな事業として加えることいたしました。学位記授与式や入学宣誓式の中止を余儀なくされ、遠隔授業の導入、経済悪化に伴う就職活動への影響など、学生・保護者の方々とも不安が募っているものと存じます。このような状況だからこそ、後援会として支援できることを前向きに検討してまいりたいと考えております。

保護者の皆さまには、今後とも後援会活動の趣旨をご理解いただき、各種行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。

2020年度 事業計画

【1】大学と家庭との連携強化

キャンパスガイド・大学広報誌「さやけき」の配付 ほか

【2】教育懇談会の実施

寝屋川・枚方両キャンパスと学外会場にて秋期教育懇談会の実施

【3】教育に対する援助

研究発表・ゼミ旅行・資格試験への援助 ほか

【4】学生の課外活動に対する援助

課外活動・大学祭への援助 ほか

【5】就職活動に対する援助

保護者向け就職支援冊子の配付・就職セミナー開催への援助 ほか

【6】リスクマネジメントに係る援助

新型コロナウイルス感染拡大防止策に係る援助 ほか

後援会総会をホームページへの資料掲載形式で実施しました

例年5月下旬に開催している「後援会総会」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は大学における会合形式での実施は中止となりました。総会で審議予定であった議題については、資料を本学ホームページに掲載し、ご意見を募る形での開催と

しました。2019年度決算報告、2020年度事業計画および予算案などについて、異議なく原案どおり承認されました。2020年度の三役が下記の通り選出されたほか、新たに12人の新役員候補者が承認され、計51人の新運営体制が整いました。

【2020年度 三役】(※敬称略 50音順)

会長 仲田 久美子(薬学部)

副会長 伊瀬 徹(経済学部) 一色 夕子(薬学部)

井上 圭子(外国語学部) 奥田 篤司(法学部)

能美 孝司(経営学部) 山本 華織(理工学部)

和田 健太郎(看護学部)

監事 金谷 直美(外国語学部) 保田 和彦(経営学部)

秋期教育懇談会のご案内

秋季教育懇談会を10月から11月にかけて、本学(寝屋川・枚方)会場に加えて、学外5会場で開催します。ご子女の大学生活において今抱えている問題や疑問について相談できる機会となっておりますので、ぜひご参加ください。詳細については、9月に送付の案内状または本学ホームページをご覧ください。

本学ホームページ 後援会サイト

<https://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/>



【2020年度 開催スケジュール】

本学会場	
10/31(土)	11/7(土)
寝屋川キャンパス	枚方キャンパス

学外会場				
10/3(土)	10/4(日)	10/18(日)	11/8(日)	11/15(日)
高松	広島	米子	福岡	奈良



個別懇談



家計が急変し、学費の支払いに困った場合は…

奨学金・教育ローン・学費減免の案内

不慮の事故や災害などにより家計が急変し、学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内します。

区 分	名 称	返済の要・不要
奨学金	①日本学生支援機構貸与奨学金 (JASSO) の緊急／応急採用	必要
	②貸与金額の増額 (すでにJASSO奨学生の場合)	
	③地方公共団体・民間奨学団体の奨学金	団体により異なる
教育ローン	①国の教育ローン 日本政策金融公庫	必要
	②本学との提携ローン 学費サポートプラン (オリエントコーポレーション) 悠裕プラン (ジャックス)	
学費減免	大学独自の学費減免制度 (※給付制の学内奨学金を受給している者等、適用対象外となる場合があります)	不要
一時金	JASSO災害支援金 (自然災害等により住居に被害を受けた場合)	不要
奨学金 & 学費減免	高等教育の修学支援制度 (日本学生支援機構給付奨学金 & 国の授業料等減免) 【家計急変】	不要

◎申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類等が必要です。

募集案内や説明会、奨学金に関することはポータルサイトでお知らせします。随時情報発信しますので、見落としのないよう留意してください。



摂南大学の特色ある取り組み②

環境保全 Environmental Protection

—— 寝屋川キャンパスの整備進む ——

■バス待合スペース・広場を整備

寝屋川キャンパスの正門前にあるバス停留所「摂南大学」(南行側乗車エリア)に待合スペースを整備しました。この停留所は本学の最寄り駅である京阪電鉄寝屋川市駅へ向かう多数の学生や教職員が利用しています。今回の整備により最大約240人が安全に待機できるスペースとなりました。雨除け屋根により待合時に雨に濡れる心配も解消されました。

さらに、隣接するエリアには、キシシマツツジやヤマザクラの植栽が彩りを添える広場も整備し、イベント開催や大学と地域の交流の場として活用できます。



待合スペース



広場(写真上)とバス停留所



新グラウンド(写真下は観覧席エリアに。現在建設中)

■新グラウンド 「東グラウンド」が完成 隣接する部室棟も建設中

寝屋川キャンパスに新たなグラウンドが完成しました。熱対策が施された人工芝のフィールド(ラグビー、アメリカンフットボール、サッカーなどに対応したライン・目印付き)やエンボス加工の走路、跳躍競技専用コースなどを備えているのが特長です。敷地内には駐車場も設け、観客を招いての交流試合などの実施も計画しています。

今後、新グラウンドには、観覧席を備えた新しい部室棟ができる予定です。そのほか、食堂や体育施設などを備える新3号館・4号館の新築工事も進めております。

文化会写真部が本学ホームページでキャンパス整備の進捗状況を随時取材し、紹介しています。

【C.C.S】 緑のカーテン、 今年も育てています

キャンパス・クリーン・サポーター (C.C.S.: 学内の環境改善に取り組む学生のボランティア団体) が、省エネルギーの一環として、毎年恒例となった緑のカーテンづくりに挑戦しました。

今年はコロナ禍の影響で、C.C.S.メンバーの通学が困難な中、メンバーと職員がメールなどで連絡を取り、摘芯、追肥、ツルの巻き付けなどの手入れを行っています。4月下旬に植えたゴーヤ、キュウリ、ミニトマト、アサガオの苗はすくすくと成長し、6月中旬にはつぼみを付け、夏の盛りには次々にかわいい花を咲かせていました。

寝屋川キャンパスの夏の風物詩になった本活動が環境改善につながるよう、今年も大切に育てています。



